

令和7年度 依存症関連問題研修会 開催要領

1. 目的

依存症を抱える当事者やその家族は、援助希求が乏しく地域でも孤立しやすい傾向にある。また、疾患の特徴（否認など）から、相談につながるまでに時間がかかり、ようやくつながったとしても支援の継続が難しい場合が少なくない。そのため、支援者は疾患についての適切な理解や、回復までのステップをイメージしながら当事者や家族にかかわる必要がある。

近年、依存症の種別は拡大し、その中でもオンラインによるギャンブルへのアクセスのしやすさ、スマートフォン利用等による手軽さなどを背景に、容易にギャンブルにのめり込みやすい環境にある。オンラインやスマートフォンは、特に若年層に身近であり、ギャンブル依存症の低年齢化が深刻な問題となっている。また、ギャンブル依存症の背景には、特に若年者の場合には、若年者特有の孤独感や生きづらさなどがあるといわれている。

本研修では、若年が抱える生きづらさや行動嗜癖に陥りやすい心理状態などの知識のほか、初期対応やアセスメントに必要な視点、専門機関へのつなぐ際の工夫などを学び、日々の支援で活用可能な技術の習得を目的として開催する。

2. 対象者

行政機関、若年者相談機関、教育機関、障害者相談支援事業所、精神科医療機関、司法機関等、依存症関連問題を抱える当事者及び家族からの相談に関する業務に携わる職員

3. 日時

令和7年12月1日（月）14:00～15:30

4. 開催方法

オンラインまたは会場参加のハイブリッド開催。講師はオンラインにて中継。

（※基本はオンライン参加を推奨。参加用機材がない、オンラインに不慣れ等の理由により会場参加希望の方は対応可。）

オンライン：ミーティングツールはMicrosoft Teams を使用する。

会場：仙台市精神保健福祉総合センター 研修室

（〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字三居沢 1-6）

5. 内容

テーマ「若者のギャンブル依存症の理解とサポート～若者の生きづらさに着目して～」

講師：医療法人社団光風会 三光病院 院長 海野 順 先生 [精神科医]

6. 定員

オンライン参加定員 100 名、会場参加定員 30 名

（希望者多数により調整させていただく場合にのみ、担当よりご連絡いたします）

7. 申し込み

（1）方法 LoGo フォームによる申し込み

〈申し込みフォーム〉

<https://logoform.jp/f/VKpOz>

〈二次元バーコード〉



(2) 申し込み期限 令和 7 年 11 月 24 日 (月) 17 時まで

8. 問い合わせ先

仙台市精神保健福祉総合センター (はあとぽーと仙台)

連絡先 : 022-265-2191

担当 : 藤村、川村